

第 2 期教育振興基本計画に関するパブリックコメント（結果概要）

【 1. 集計結果】

(1) 総意見数

合計 : 799 件

※この他、募集期間終了後に 9 件の意見。

※1人から複数の意見提出があった場合は、それぞれ別個にカウント。

(2) テーマ別集計

テーマ	意見数
1. 社会を生き抜く力の養成について	471 件
2. 未来への飛躍を実現する人材の養成について	23 件
3. 学びのセーフティネットの構築について	72 件
4. 絆づくりと活力あるコミュニティの形成について	19 件
5. 4つの基本的方向性を支える環境整備について	176 件
6. 東日本大震災からの復旧・復興支援について	12 件
7. その他（計画全体への意見を含む）	129 件

※提出意見中に、複数の意見が並列して記載されている場合は分けてカウントしているため、合計は総意見数と異なる。

【 2. 意見概要（例）】

1. 社会を生き抜く力の養成について

- 「創造・自立・協働」を掲げ、生涯学習社会の実現をめざしていることに共感。
- 教員の専門性・力量の向上は、「次代を担う人材の育成」を目的とする教員にとって非常に重要。
- 学習指導要領の弾力化を進めるべき。

2. 未来への飛躍を実現する人材の養成について

- 外国語教育の強化について、具体的にどのように英語力を強化していくかが重要。
- 高い英語能力を身につけた英語教員を養成するためにも留学を必修とし、英語教員を目指す人を国が支援することが必要。

3. 学びのセーフティネットの構築について

- 子どもが安心して学べるために、就学援助の拡充、給付型奨学金の創設が必要。
- 老朽校舎、体育館等の改築・改修を含めた安全対策を計画的に進めたり、各学校の意見を尊重した防災計画の策定や帰宅困難者対策としての各学校の備蓄等が必要。

4. 絆づくりと活力あるコミュニティの形成について

- 学校だけではできないことがあったり、登下校の際、子どもたちに危険が及ぶことがあったりするので、地域の力は大きい必要。地域の温かい目で、学校を補ってほしい。

5. 4つの基本的方向性を支える環境整備について

- 「学校のことは学校自身が地域住民や保護者の意向を踏まえて決定する」という改革は重要。
- 教職員の定数改善について、国として財政措置が伴った年次計画を策定して推進すべき。

6. 東日本大震災からの復旧・復興支援について

- 東日本大震災で救助・救援活動に携わった人々、また、被災地の復旧・復興を担っている人々の「職業的な使命感」を目の当たりにし、高い志を持った児童生徒・学生に対し、未来志向の復興や社会づくりを担う人材として育成していくための教育が必要。

7. その他

- 現場にとってわかりやすく、意思疎通のし易いものを作っていくことが課題。

など